

令和3年1月13日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

## 報告事項

### 新型コロナウイルス感染症に関する濃厚接触者等に対する支援について

#### ～内容～

濃厚接触者やその家族等に対する宿泊支援事業や感染防止の診療・検査について、報告を受けました。

#### ～質疑～

**問：岡山県のPCR検査は、全体で何件実施することが可能なのか。**

答：現時点では、1日当たり8,120件のPCR検査を実施することが可能である。  
検査結果については、早い場合であれば、午前中に検体を取れば、夕方には結果が分かる。

**問：PCR検査を受け、自宅待機している方の結果が陽性となった場合、その方は隔離施設まではどうやっていくのか。公共交通機関等は使用できないと思うがどうか。**

答：基本的に保健所が送迎をする。

**問：陽性となった方の家族で、乳幼児、児童、認知症の方等の支援はどのようにするのか。**

答：残された家族の福祉をどのように行うかは非常に重要な問題である。既存の福祉サービスや保育サービスを活用し、柔軟にその家族に適用できるよう調整を行うこととしている。保健所とも連携を取りながら、その家族の生活継続にしっかりと対応したい。児童の場合は、児童相談所に預けるようなことも検討している。

**問：市が行うPCR検査の範囲はどのように考えているのか。サンロード吉備路の利用者であるとか、吉備路アリーナの利用者であるとか、特に大型施設についてどう考えているのか。**

答：例えば、体操教室でクラスターが発生した場合は、その参加者は全員PCR検査を実施することとなる。施設全体での感染の広がりが無い場合は、すべての方にPCR検査を実施するわけではない。感染の状況により実施範囲は変わり、保健所と連携して進めていきたい。

### 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた準備状況について

#### ～内容～

接種券の発送、コールセンターでの受付等、ワクチン接種に向けた準備状況について報告を受けました。

#### ～質疑～

**問：新型コロナワクチン接種にあたり、緊急を要するものは予備費を使用するとのことだが具体的にはどのようなことを想定しているのか。また、国の3次補正で対応するものは何か。**

答：緊急を要するものとして、新型コロナワクチン接種の接種券の発送業務がある。また、そのためのシステム改修がある。国の3次補正で対応するものは、コールセンターの運営費や新型コロナワクチンの接種費用が考えられる。

**問：コールセンターの体制はどのようなものか。**

答：3月から運用を開始する予定である。6名程度の人員配置をする予定である。

**問：新型コロナワクチン接種について、接種場所はどう考えているのか。西部地区や昭和地区はどうするのか。ワクチンを保管する冷凍庫はどの程度、本市に入ってくるのか。**

答：ファイザー製のワクチンは、1,000人単位で10日間のうちに接種する決まりがある。医療機関だけの対応では難しいので、公共施設の活用も考えている。昭和地区等へは、こちらから出向いて行くことも検討している。冷凍庫については、5台入ってくる見込みである。1台に5,000人分のワクチンが保管でき、通常電源で対応可能である。

**問：ワクチン接種をしたくない方もいるようだが、対応はどうするのか。市民に対し、どのように説明を行っていくのか。**

答：ワクチンの有効性や安全性については、国が責任をもって判断している。そのことは、しっかりと市民に伝えていきたい。国がどういう視点でワクチンを承認したか等、どういった周知ができるか、しっかり考えていきたい。

## 第6期総社市障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画について

### ～内容～

障がいのある方が利用する障がい福祉サービスや相談支援、地域生活支援等のサービス等を提供するための基本的な考え方や数値目標、確保すべきサービス量を定めることについて報告を受けました。

### ～質疑～

**問：地域生活支援拠点等の整備とあるが具体的にはどうか。**

答：地域レベルの取組を基礎とし、障がい者の高齢化や重度化を見据えて、課題に応じてどのような機能整備していくか、社会福祉法人や地域自立支援協議会と協議を行っている。入所施設、通所施設、ショートステイのように泊まれるような場所等を検討している。

**問：特別支援学校との連携はどうか。就学期の対応が非常に重要と考えるがどうか。**

答：特別支援学校等に何度も出かけて、いろいろな話を聞いている。この度の計画策定に当たってはPTAの方にも話を聞いている。また、相談に乗る人材の育成も重要と考えており、本市の教職員とまきび支援学校などの特別支援学校との人事交流を行

い、どのような教育が必要であるか、どのような連携ができるか等を考えている。

問：計画には、総社市が障がい者の一生に責任を持ちますとあり、施設に関わる人、接する人もそうだが、市民が障がい者に対する理解が大切である。認識をどう深めていくかが大切であるが、その部分の記載が少ないようである。障がい者に対する考えの持ち方をどうしていくのか。

答：障がい者への理解は本当に大切だと思う。人権教育は本当に心の教育を進めていく上での柱である。学校では力を入れてやっているが、一層力を入れていかなければならない。大人になってもそういう心が残っていれば、差別をしない、理解をするという行動に変わってくると思う。障がい者の差別を止めましょうではなく、理解をするという思いを市全体で進めていきたいと思う。具体的に、どういう機会にどんな話をしていくかは、これから考えていきたい。

## 新型コロナ禍における総社市スポーツセンター等体育施設指定管理業務について

～内容～

使用中止や使用制限に伴う収益の減少や感染防止対策について報告を受けました。

～質疑～

問：新型コロナウイルス感染症の影響で収益が大幅に減少しているが、指定管理者との契約では、市の補填が発生するのか。発生するのであれば、どのような内容となるのか。

答：契約では、今回のような場合では、双方が協議して定めるとしている。また、不可抗力により市民及び指定管理者いずれの責めに帰することができない場合は、市がリスクを負うこととなっており、具体的な内容については今後協議していく。

## 第2すずらん保育園の増改築工事の進捗状況について

～内容～

令和2年度末の予定であった完成が遅れることについて報告を受けました。

～質疑～

特になし

## G I G Aスクールの取り組み状況について

～内容～

通信環境の整備状況やモデル事業の実施について報告を受けました。

～質疑～

**問：GIGA スクール構想を進めるに当たって、専門家の方を任用するなどの考えはないのか。現職の先生で対応していくのか。**

答：小学校の支援として、ICT サポーターが現在3名勤務しているが、今後拡充が必要だと考えている。人数や相談日数を増やしたり、中学校へも支援を行ったりしていきたい。また、ICT 活用を推進する情報教育班があり、この班を中心に GIGA スクール構想を積極的に進めていく。

**問：教職員の研修などを行い、児童・生徒を指導できよう体制を整えることも必要だが、どうか。**

答：年間指導計画やパソコン操作等の到達目標を示し、各学校の教職員のレベルを上げていく。日常的にいつでも誰でも使えるよう、粘り強く指導と支援を続けていきたい。

**問：GIGAスクール構想を進めるに当たって、ICTが得意な先生がいたり、苦手な先生がいたりすると思うが、苦手な先生に疲弊感が出ていないか。**

答：ICTが苦手な先生にとっては、この学習環境の劇的な変化は抵抗がある。しかし、GIGAスクール構想の取組は、児童・生徒と向き合える時間の確保や働き方改革につながる側面もある。教職員の勤務実態調査によると、教材研究や教材作成というのが時間外業務の多くを占めていることが分かっており、こういったところの削減が期待できると考えている。

## 令和3年総社市成人記念式の延期について

### ～内容～

成人記念式の延期決定の経過と今後について報告を受けました。

### ～質疑～

なし